



平成24年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成23年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ニッチツ

コード番号 7021 URL <http://www.nitchitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 塩谷 和男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部総務部長

(氏名) 松井 慎一

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

TEL 03-5561-6200

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	2,707	7.0	392	4.5	414	7.3	224	63.4
23年3月期第1四半期	2,911	1.8	410	12.3	447	2.2	137	53.0

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 229百万円 (398.2%) 23年3月期第1四半期 46百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	10.54	—
23年3月期第1四半期	6.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	16,640	9,724	58.4	457.39
23年3月期	16,776	9,579	57.1	450.59

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 9,724百万円 23年3月期 9,579百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	4.00	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,600	2.9	630	8.3	640	12.7	360	41.4	16.93
通期	11,600	1.5	1,310	13.6	1,340	19.7	780	6.6	36.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
以外の会計方針の変更 ： 無
会計上の見積りの変更 ： 無
修正再表示 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

期末発行済株式数（自己株式を含む）

期末自己株式数

期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	21,300,000 株	23年3月期	21,300,000 株
24年3月期1Q	39,001 株	23年3月期	39,001 株
24年3月期1Q	21,260,999 株	23年3月期1Q	21,263,798 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2～3ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループを取り巻く事業環境は、船用機器の需要は、新造船のうちバルカーにかかる過年度までの豊富な受注残を背景に総じて高水準で推移いたしました。また、半導体、情報通信関連分野の需要も堅調に推移しております。他方、賃貸ビル業においては、都内オフィスの平均空室率が高止まりする一方、設備投資の低迷に伴い関連需要も低調に推移いたしました。

上述の如き環境の下、当第1四半期連結累計期間の売上高は27億7百万円（前年同期比7.0%減）、営業利益は3億9千2百万円（同4.5%減）、経常利益は4億1千4百万円（同7.3%減）となりましたが、特別損益の改善により、四半期純利益は2億2千4百万円（同63.4%増）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

機械関連事業

船用機器においては、バルカーにかかる過年度までの豊富な受注残に支えられ、ハッチカバー及び大型ブロックの出荷が伸長し、自動車運搬船向けカーデッキの落込を吸収して、売上、受注とも微増となりました。産業機器は、空気予熱機の部品（エレメント）の出荷が、大口案件のあった前年同期との対比で減少したこと等により、売上、受注とも減少いたしました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は16億1千万円（前年同期比17.1%減）、営業利益は2億4千5百万円（同19.2%減）となりました。

資源関連事業

半導体封止材や液晶ガラスなどの原料であるハイシリカ（精製珪石粉等）の需要は、半導体関連及び液晶関連が堅調に推移する一方、光学関連がスマートフォン市場の活況等を背景に、また、高純度製品が新市場開拓によりそれぞれ伸長いたしました。結晶質石灰石も住宅関連資材向け需要が、一部震災復興関連を含め堅調に推移いたしました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は8億7千3百万円（前年同期比21.4%増）、営業利益は1億3百万円（同63.2%増）となりました。

不動産関連事業

賃貸ビル市況が低迷する中、好立地等を背景に高稼働を維持し、売上高は4千1百万円（前年同期比3.2%増）、営業利益は2千2百万円（同5.8%増）となりました。

その他

耐熱塗料の需要は、設備用が低調に推移する中、家電向け輸出仕様品等工業用の出荷も競争激化により落ち込み、また、ライナテックス（高純度天然ゴム）関連の出荷も製鉄関連向け大口案件のあった前年同期との対比で減少したことから、売上高は1億8千2百万円（前年同期比12.8%減）、営業利益は2千1百万円（同5.4%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、166億4千万円となり、前連結会計年度末比1億3千6百万円減少いたしました。これは、仕掛品が増加する一方、受取手形及び売掛金の減少、減価償却の進捗により有形固定資産が減少したこと等によるものであります。負債合計は69億1千5百万円となり、前連結会計年度末比2億8千1百万円減少いたしました。これは、未払法人税等の減少、有利子負債の減少等によるものであります。純資産合計は97億2千4百万円となり、前連結会計年度末比1億4千4百万円増加いたしました。これは、利益剰余金が増加したこと等によるものであります。この結果、自己資本比率は58.4%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期（第2四半期累計期間及び通期）の連結業績予想につきましては、資源関連事業のハイシリカ部門の需要拡大が見込まれるものの、機械関連事業は、産業機器関連において厳しい受注環境が続くものと予想せざるを得ないこと等を勘案し、平成23年5月12日に発表いたしました内容を変更しておりません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（4）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,622,729	4,576,173
受取手形及び売掛金	2,589,213	2,463,298
商品及び製品	283,378	228,857
仕掛品	663,442	788,385
原材料及び貯蔵品	225,953	233,473
その他	441,939	482,075
貸倒引当金	488	473
流動資産合計	8,826,169	8,771,790
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,434,240	2,419,012
機械装置及び運搬具(純額)	1,330,889	1,256,513
土地	2,507,946	2,479,113
その他(純額)	63,588	69,103
有形固定資産合計	6,336,665	6,223,743
無形固定資産	23,389	22,568
投資その他の資産		
投資有価証券	1,165,771	1,159,728
その他	428,538	466,039
貸倒引当金	3,567	3,667
投資その他の資産合計	1,590,741	1,622,100
固定資産合計	7,950,796	7,868,412
資産合計	16,776,965	16,640,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	818,843	882,014
短期借入金	2,669,603	2,635,103
未払法人税等	374,061	178,336
賞与引当金	143,869	222,887
役員賞与引当金	23,200	29,000
受注損失引当金	35,235	34,429
環境安全対策引当金	2,160	-
資産除去債務	35,429	24,129
その他	929,436	861,479
流動負債合計	5,031,839	4,867,379
固定負債		
長期借入金	698,544	587,850
退職給付引当金	530,387	532,989
役員退職慰労引当金	115,068	120,533
環境安全対策引当金	63,571	63,571
資産除去債務	80,969	74,083
その他	676,588	669,218
固定負債合計	2,165,128	2,048,245
負債合計	7,196,967	6,915,625
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	811,257	811,257
利益剰余金	7,577,295	7,716,415
自己株式	9,587	9,587
株主資本合計	9,478,965	9,618,085
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	95,906	89,900
繰延ヘッジ損益	-	2
為替換算調整勘定	5,125	16,588
その他の包括利益累計額合計	101,032	106,491
純資産合計	9,579,997	9,724,577
負債純資産合計	16,776,965	16,640,203

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
売上高	2,911,623	2,707,224
売上原価	2,186,762	1,974,877
売上総利益	724,860	732,346
販売費及び一般管理費	313,930	339,776
営業利益	410,930	392,569
営業外収益		
受取利息	1,162	974
受取配当金	19,750	17,798
持分法による投資利益	7,147	20,642
保険解約返戻金	15,241	-
その他	26,155	13,720
営業外収益合計	69,458	53,136
営業外費用		
支払利息	12,538	9,438
休廃止鉱山管理費	12,340	10,841
その他	8,023	10,520
営業外費用合計	32,902	30,800
経常利益	447,485	414,906
特別損失		
固定資産処分損	310	2,816
減損損失	17,330	28,745
投資有価証券評価損	72,838	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	54,383	-
その他	22,147	-
特別損失合計	167,010	31,561
税金等調整前四半期純利益	280,475	383,344
法人税、住民税及び事業税	165,103	179,804
法人税等調整額	21,773	20,623
法人税等合計	143,329	159,180
少数株主損益調整前四半期純利益	137,145	224,164
四半期純利益	137,145	224,164

(四半期連結包括利益計算書)
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位 : 千円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 6 月30日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	137,145	224,164
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	75,160	6,005
繰延ヘッジ損益	5,197	2
為替換算調整勘定	10,692	11,462
その他の包括利益合計	91,050	5,459
四半期包括利益	46,094	229,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,094	229,623
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,943,304	719,289	40,284	2,702,878	208,745	2,911,623	-	2,911,623
セグメント間の内部 売上高又は振替高	109	53	-	162	395	557	(557)	-
計	1,943,414	719,342	40,284	2,703,040	209,140	2,912,180	(557)	2,911,623
セグメント利益	303,772	63,184	21,622	388,578	23,113	411,692	(762)	410,930

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去359千円、全社費用 1,121千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	1,610,408	873,207	41,593	2,525,209	182,015	2,707,224	-	2,707,224
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	38	-	38	631	670	(670)	-
計	1,610,408	873,246	41,593	2,525,248	182,646	2,707,895	(670)	2,707,224
セグメント利益	245,368	103,105	22,881	371,355	21,876	393,231	(661)	392,569

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、耐熱塗料の製造・販売及びライナテックス(高純度天然ゴム)の仕入・加工・販売等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去276千円、全社費用 938千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。